

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 157 事業名 水質汚濁防止事業

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	4	自然環境・資源循環型社会の形成
施策	1	生活環境の保全
取組	2	水環境・土壌環境の保全

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		環境保全費	
	目		環境保全政策費	
	大事業		環境保全対策事業	
事項		水質汚濁防止事業		

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画	和歌山市環境基本計画		
担当課・担当課長 (Tel)	環境政策課	瀧谷 善範(435-1114)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容					
水質汚濁防止法等に基づく、公共用水域及び地下水の常時監視及び工場排水の規制・指導等を行うことにより、環境保全に努める。また、瀬戸内海の環境保全を図るため、関係府県市と広域的な相互協力を行う。	海域・河川の常時監視、工場排水の規制・指導業務、有害物質による地下水汚染の実態調査、ゴルフ場使用農薬による環境汚染調査、海水浴場の水質調査を実施する。					
事業概要	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	工場・事業場（87工場・事業場延べ204排水口）の排水監視公共用水域河川（環境基準点9地点、補助地点9地点）及び海域（環境基準点10地点、補助地点8地点及び全窒素全燐の環境基準点2地点）の常時監視地下水（30地点）の常時監視苦情処理（24件）の実施	工場・事業場（94工場・事業場延べ210排水口）の排水監視公共用水域河川（環境基準点9地点、補助地点9地点）及び海域（環境基準点10地点、補助地点8地点及び全窒素全燐の環境基準点2地点）の常時監視地下水（30地点）の常時監視苦情処理（22件）の実施	工場・事業場（92工場・事業場延べ208排水口）の排水監視公共用水域河川（環境基準点9地点、補助地点9地点）及び海域（環境基準点10地点、補助地点8地点及び全窒素全燐の環境基準点2地点）の常時監視地下水（30地点）の常時監視苦情処理（23件）の実施			
	実施内容					

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	14,148	6,991	9,488	8,792	10,912	9,827	11,534			
	伸び率 (%)	-	-	-32.9%		15.0%		5.7%		-100.0%	
	人件費	常勤職員	12,507	13,418	13,931	11,470	12,507	11,149	12,507		
		非常勤職員									
	小計	12,507	13,418	13,931	11,470	12,507	11,149	12,507			
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源(税等)	14,148	6,991	9,488	8,792	10,912	9,827	11,534				
所要人数	常勤職員	1.63	1.75	1.82	1.52	1.63	1.48	1.63			
	非常勤職員										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	公共用水域の（河川・海域）監視地点数				年度目標値					
	実績値				37	37	37	37		
	単位	地点	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
成果指標	工場・事業場等に対する監視延べ排水口数				年度目標値					
	実績値				204	210	208			
	単位	個	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度					
	公共用水域の環境基準達成率				年度目標値	95	95	95	95	
実績値				84.2	89.5	84.2				
単位	%	全体目標値	95	全体目標達成度	94.2%	年度別達成度	88.6%	94.2%	88.6%	
目標	工場・事業場等の規制基準順守率（水質汚濁）				年度目標値	100	100	100	100	
	実績値				99.6	99.8	99.7			
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	99.8%	年度別達成度	99.6%	99.8%	99.7%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	法定受託業務であり、測定地点及び項目数を削減することは出来ない。継続して、工場等の発生源の監視・指導を行うとともに、公共用水域等の監視に努める
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	